

1 まちづくり懇談会 長島

日時：平成 29 年 11 月 16 日（木）午後 7 時～8 時半

場所：恵那文化センター

4. 「はたらく」「たべる」「くらす」の政策について

■市長 長島町の人口は平成 17 年は 1 万 217 人、平成 28 年は 9613 人。世帯数はずっと増えている。若い人が親と別に暮らしている。平成 17 年に 1 世帯当たり 2.93 人、平成 28 年に 2.57 人。ただ、恵那市全体では 2.2 人ぐらいだと思うので、若干それより多い。人口の割合では、長島町は 5.9%の減、恵那市全体では 9.6%の減、町別では大井、東野に次いで 3 番目。あまり減っていない方だが、減っていることは減っている。出生数は多いとき 100 人近かったが 69、58、72 が直近 3 年間。多くはない。平成 17 年を 100 としたとき、20.8%減。

事業について。

こども園関連。文化センターと長島小学校とこども園に関して。今年すぐに工事に入るのは文化センターの東側の待避所。喫茶店から長島小学校の横に入るところにも待避所の設置をする。今年の工事費は 400 万円ぐらい。今設計測量もやっており、30 年度、31 年の春に向けて準備をしている。亜炭道路の下り坂の舗装と現道拡幅はこれから工事に入る。担当から地元の説明に行く。

文化センターは一部修理のための調査を今年度行う。榎ヶ根公園も大規模改修の時期に入っているので、今年度調査設計で、どの程度修理するか調査をしている。

恵那西工業団地は、西中学校の西側に工業団地の予定がある。開発面積 19.5ha、で、若干止まっている。19 号、榎ヶ根公園の信号から、西中の近くを通り工業団地までの道路改良計画もある。2 車線の道路改良計画で、工業団地が地盤の中にいろいろ出てきたのでそこを検討しながらこちらの工事をやるようになっているがちょっと止まっている。

久須見地域の皆様には検討いただかないといけないが、ニリアの送電線の計画。50 万ボルトの送電線、愛岐幹線というのがあり、そこから変電所を通じて 15 万 4 千ボルトに電圧を落として車両基地に運ぶという中部電力の事業がある。久須見から笠置をって行く。300～400mに 1 本鉄塔が建つ予定。こういう問題に関してはリニア対策特別委員会が議会にあるし、市も対策本部で考えていく。今検討しているし、寄せられた意見もその中

で共有している。

正家廃寺跡。国指定を平成13年8月に受けた。貴重な木簡も出て、廃寺跡のいろいろな遺跡もある。木簡を参考にして次米のみのり祭にも24年から取り組まれている。

長島町にはリコーエレメックス所有の土地で、リコーエレメックスと住民が恵那の森中山道里山協議会を作り、いろいろ里山づくりの取り組みをされている。すばらしい取り組みだ。

中山道のれんコンテストは、21年から取り組み、長島町は24年から入っている。今年もオープニングにお邪魔したが、かなりの数ののれんが恵那を彩る。

チャオ・カフェ。子どもの地域活動支援がたたえられ、平成28年11月16日に岐阜県の地域子ども支援賞を受賞された。こういうすばらしい取り組みが長島町の中で行われている。

農業。長島町全体で313haの農地で、71haが耕作放棄地。耕作放棄率22.7%。5枚に1枚ぐらい。ちょっと割合が多い。これを何とか頑張っていきたい。恵那農高がエゴマとれんげを作っている。今年はエゴマ100kg、はちみつが8kg採れた。こういうことを参考にして農業の再生や、いろいろな実験も含めてやっていけるといいと思う。

5. 意見交換

■司会 市長の説明の3つの点に対する意見、質問を承る。立場、自治会名、名前を言うてからマイクで発言してほしい。

■長島地域自治区運営委員・西部 道路が今度直していただける永田の大洞の自治会。

市政の根幹のはたらく、くらすということで分かりやすく説明していただいた。最後の方で、今年度から建設が始まっている、おさしま二葉こども園に関連して今年度から周囲の道路を変えるという話を聞いた。それと榎ヶ根公園の大規模改修をするということだ。おさしま二葉こども園の建設によりこの一帯を文化センター、新しいこども園、長島小学校も含めて、我々は以前から文教地区として整備してはどうかと提案している。改めて、やはりここは、道路もスピードを落としたりして、子どもたちや一般の人が安全に道路も横断できる文教地区にしていただきたい。文教地区で一番かなめになるのは長島小学校だと思う。現在の長島小学校は完成が昭和45年3月。もう47年前に現在の建物ができた。平成4年に大規模改修を行っているし、平成16年に耐震工事もしている。しかし、その大規模改修からすでに25年経っている。現状どんな状況かスライドで見たい。(上映)

トイレは見た目はそう傷んでいないがタイル貼りだ。今こういうトイレははやらない。水を流してブラシでこするものだ。洋式のものもあるが和式のものも残っている。今の子どもは、和式のトイレにはほとんど行かないと思う。たいていの家は洋式なので、これは古いと思う。男子も和式が残っている。

2階の屋根の裏がはがれて崩れている。屋根の空気口も傷んでいる。校舎の北側屋根は雨が降ると水が溜まる。その水がペンキか何かを溶かして下に垂れる。それが、下の来賓駐車場に落ちて、垂れると取れない。なるべくこの下には車を停めないでくださいと表示してある。かなり年数が経っているので、何とか改修か新築か、我々は建て替えを希望するが、提案したい。

長島小学校の校舎は3階建てで、1階部分の出入り口は北と南にしかない。1階の西の端の校舎は袋小路になっており外に出られない。火事があつたり暴漢が入ってきたとき、子どもたちが逃げられない。また、保健室がグラウンド側に出入口がない。今の小学校は大半がグラウンドに出られるようになっている。救急車が保健室の前に来られるようになっている。長島小学校は構造上問題があるのではないか。

我々は建て替えあるいは大改造、いろいろ方法があると思うが、提案したい。

現在、生徒数が非常に減っている。平成9年には644人の子どもがいた。10年前の平成19年には582人、現在は489人。この10年間、たとえば平成19年から現在まで16%も子どもが減っている。現在のこの建物にはなかなか教育的な効果も難しいのではないかとということで、適正規模に合った校舎にしてもらいたい。

もう一つ大事だと思うのは、正家第二区画整理で住宅団地ができ、そこで人口が増えることが期待できる。そうすると子どもたちがこちらへ帰ってくる。それを見込んで改築または建て替え工事をしてくれれば、よりここへ移住する人も出ると思う。

子どもの教育を人口を増やすための目安あるいは戦略として考えてほしい。魅力ある学校を作るために新しくぜひ建て替えていただきたい。教育をてこにしたまちづくりを考えている。

最後にお願いだいが、改築、建て替えについて市の総合計画にどのように位置付けられているかさしきわらない程度でお答えいただきたい。

■市長 いろいろ提案いただきありがとうございます。

このエリアが文教エリア、文化センターとこども園、小学校があるということで、まさにその通りだと思う。以前から長島町の皆さんはこの辺りを子どもたちが安全に暮らせるようにしたらどうだという提案をくれているので、一生懸命取り組んでいけるといいと思っている。

建て替えは現時点でやると言うとは後で副市長などに怒られるので申し上げられないが、一番古い学校の一つだと認識している。ただ、総合計画も含めて、今の時点で、議論としては出ているがいつやるということは決まっていなくて、今後検討しないといけない。お金がない中での綱の引き合いになる。認識しているということでご勘弁いただきたい。

■地域自治区運営委員・安田かずえ 中野本通り自治会。

市長の話で、くらすという部分で、大井・長島町は恵那の中心にある町だ。ただ、空き

家が目立ってきている。空き家を活用していくことを恵那市では考えているか。うちの主人も恵那から名古屋に通っているが、恵那駅に徒歩圏内で行ける。名古屋の通勤が十分可能で、スーパーも徒歩圏内にあり、長島町に住みたいという若いファミリーの意見を聞く。アパートでは手狭になってきたが、長島小学校、西中学校に子どもを通わせたいという意見を何人もから聞いた。免許を返納した高齢者も、徒歩圏内に医療機関、スーパーがあるところに住めれば、安心して暮らせる町になるし町も活性化して人口の増大につながると思う。

もう一つ。大洞に市営住宅があるが、今後どう活用するか。大洞住宅は大分年月が経ち今のライフスタイルに部屋も合っていないし、制約があるので空いているという話を聞く。若い人たちが入れるようなリフォームをしたり入居の基準の見直しをすることはあるか。

■市長 空き家は深刻な話だ。長島町だけでなく恵那市中で空き家が増えている。移住定住関係の実績を先に申し上げる。空き家バンクに登録すると、移住定住したい方に紹介する。平成28年度は恵那市全体で16組が入った。相談は125組。特に長島町の中野は大変便利なところだし、空き家として登録してくれると結構入ってくれると思う。そのためには、先進事例は串原、中野方、飯地、三郷など田舎の方だが、まちの人たちが一生懸命間に立って、ここで暮らすにはこういうことに気を付けてくださいとか、いろいろなサポートをしている。そういう人がいるところは、空き家を利用して入る人が多い。もし地域協議会やまちづくり団体で、長島の中で取り組むなら、そういうことにも取り組んでいただけると利用が上がると思う。

市営住宅は、基本的には、老朽化してさすがに貸すに堪えないものは取り壊したい。ただ、雇用促進も含め、長島町、大洞地内には結構な住宅があるので、使えるものは活用していきたい。場合によってはリニューアルも必要だと思う。全部リニューアルするとは言えない。大洞市営住宅はかなり傷んでいるので、そのままというのは難しいという印象を持っている。

■正家・細江 はたらくということ。長島町の三学委員会で、今年度の2つ目の事業として、移住定住の市の施策にも絡めて、子どもたちと親に市内の企業を見学しようということで、まず企業がどこが受け入れてもらえるかいろいろ当たったが、11月23日の祭日でもあり、受け入れも難しく、旧テイネンのBSGFと恵那東海理化の2社が受け入れてくれた。

恵那のテクノパーク、1600人余就業人口があるということだし、工業出荷額が恵那市全体の3、4割という大きなウエイトを占めているということなので、企業見学に合わせて団地の中をずっと見てみようと、一番上の三菱電機まで見ようということになったのだが、三菱電機は全く見学してもらえないし、ただネームバリューのある三菱電機が来ているがわれわれには箱しか分からない。それから、市の5月15日の広報に記事があった気

がするが、企業のピーアール、外へ向けて発信していくということなら、工業団地の14社の配置図も探して、バスの中から、ここは山本製作所、ここは愛知電機という説明するため、資料を探したが、なかなか工業団地の組合にもなく、市の商工でも企業ガイドブックを見せてもらっただけで、なかなかそういったものがなく、最終的には企業の看板の写真を撮り、それで配置を作って説明しようと思っている。中津川の工業団地は運動公園があり、いろいろな企業があつてよく分かるが、あそこは道路は立派なのがあるが工業団地は中に入っていけないとなかなか分からない。もう少し、立派な企業があつて働いているところを分かるようにしてほしい。

それから、はたらくという中で、製造業ばかりではなく、今度新しい工業団地ができるということだが、本社機能や研究開発の施設ということで、市長もトップセールスと言われているが、ぜひ新しい工業団地はそうした企業とかものの誘致をお願いしたい。さっきの工業団地は地元の人にもこういう企業があるということをもっと見てほしいのでそういう取り組みをバックアップしてほしい。

くらすということ。正家の区画整理がある。これは正家だけではなく永田や久須見の問題で、リニアの残土のこと。地域自治区で残土の運搬ルート案が示された。全て19号より南ということで、どうしてそこが候補地になったかということを経験した中では、残土の有効活用という観点からいくと、久保原や三郷ということだが、残土を環境の負荷、帰りの車が全部正家の交差点までで、10tダンプが1日200台、2分に1台通るということでいうと、本当に暮らしやすい環境になるのか。5、6年我慢しろということならするが、たとえ200台が150台、130台に減るような、少しでも何とか向こうの方へ環境負荷を減らすような取り組みをしていただくと大変有り難い。地域からそういう要望があつた。

■市長 工業団地について。大変失礼した。私は元々商工の担当だったので、すぐに資料が出るものだと思っていた。改めてきちんと指示させてもらう。必要であれば相談いただきたい。

本社機能の移転、研究開発施設の誘致は、衆議院の古屋議員が、この間の選挙でもずっと言われていた。私も考えは全く同じだ。何とかリニアを一つの契機として、ここに本社機能、研究開発を持ってきたい。ただ、具体的にはまだ何もできていない。戦略も含めて考えて、10年後のリニア開通に向けた大きな取り組みとしてやっていきたい。私の目標だ。すぐに何かをやるということではないが大きなテーマとしていく。

リニアの残土処分ダンプが通ることによる環境負荷について。残土処分場の候補地は公募して過去何年か地域の皆様に相談しながら、またJRがいろいろな条件を考えながらあそこに決まったんだろうと思う。私どもとしては、特定の1カ所にダンプの通行も含めて負荷をかけることがいいのかどうかということもあり、いくつか相談いただいた中で、決まったわけではないが一つの提案として、永田の66号を通過して三郷、山岡へ行き帰りは

257号で帰るといふ原案を提案している。ただ、ご心配も分かるので、そのあたりはまだこれから話し合いの場ができると思うので、意見を寄せてほしい。まるきりルートがなくなるということではできないので、一部どこかでご負担をお願いすることになる。改めてよくお話を聴き、皆さんで納得いただけるよう協力していきたい。皆様の立場でJRと交渉する。

■永田・池田やすこ 今日来たのはリニア残土の運搬ルートに19号永田ランプが多く出てくる、6コースの中の4コースが永田ランプを使用するというので、永田に住んでいて、永田ランプは元々渋滞しやすいし長島小学校と西中学校の通学路になっている。ダンプの走る時間が朝8時から夕方5時までとなっているそうだが、下校と重なり、安全が担保できないと思う。66号線は交通量が年々増えてきて、道路をまたいで畑がある人は、大根1本採りに行くにもなかなか渡れないという状況の中で、1日最大で200台というダンプが通ると生活が脅かされていく。永田ランプを降りてもらいたくないというのが私たちの願いだ。十分地元の住民と協議の上でやっていただきたいし、安全を担保するなら永田ランプを使用しないことだ。

■市長 夏の交通安全週間で朝7時半から交通安全で旗を持っていらっしやるところを回ったことがある。そのとき、永田ランプで右折できなかった。5分以上足止めを食らったという経験がある。パトカーに乗っていたにもかかわらず皆さん止まってくれなかった。永田ランプの交通量が急激に増えているし、なかなか右折もできないし、通学路も兼ねていて、中学生の子どもたちが横断歩道を渡っているのもよく見かける。危なっかしいと認識している。リニアの件は、今の話も含めて、もっと皆様の話を伺い、ほかにいい方法があるかも含めて検討したい。結果的に、信号を付けたり交通安全対策をもっとするなど話が出るかもしれないが、それも含めて検討する時間をいただきたい。

■チャオカフェ代表・長嶋 正家に住んでいる。

チャオカフェも8年継続している。まちづくりの部会から始まり、部会が解散する中で継続できているのは、子育て支援には恵那市は比較的手厚い環境があるおかげだ。恵那病院の充実とともに若い夫婦が増えていくことを望んでいるが、安心して産み育てられる環境づくりを恵那市で目指していきたいが、チャオカフェで母親たちと話す中で、恵那市での不安ということになると、今登校拒否児が増えているということを気にしている人が多い。私たちも地域で子育てしていただいた中で、地域力が今下がりつつある。それが結果的に子育てのしづらい環境になっている。人口増加も課題とする中で地域力をもっとアップすることもテーマに置いていただきたい。

もう一つ。女性の地域でのかかわり。過去、婦人会があったが必要性がなくなってなくなったと思うが、女性の地域的立場もバックアップの視野に入れていただきながら、恵那市をより活性していただきたい。

■市長 その通りだと思う。小児を診る医師と話をする機会があった。今の子は、病気の認定が細かくなったこともあり、何らかの問題を抱えている子が増えているという。それが悪いことではなく、小さいうちに、なるべく早めに手を差し伸べることで普通に健全に育つ子が増えるという。チャオカフェで取り組んでいるように、小さな子の交流や手当をすることが大変大事なことで私も医師から教えてもらった。地域のみんなでかかわる、サポートすることも大事だし、僕らの時代には祖父母に育てられた子が、今は祖父母に育てられないという状況もある。そういう中でサポートをどうしていくかは大きなテーマだ。地域力も含め、どういう形でやっていくか検討の場を設けさせていただき提案をいただこうと思っている。ご相談に伺うかもしれない。

女性の活躍について。恵那の中も女性の活躍は目に見えた形でできてこない。大きなテーマとしては、女性の働く場のことを言ったが、それに限らず、地域にかかわれることも含めて女性が活躍できる場を作らないといけないと思っている。ぜひそこもアドバイスいただけたらと考えている。引き続き検討しできることに取り組んでいく。

■司会 5名から質問をいただき市長から回答をいただいた。いずれも予算が絡むとともに計画が必要となる案件だが、できる限り早期に実現していただきたい。

6. 市長お礼のあいさつ

■市長 寒い中、平日の夜間にもかかわらずありがとうございました。ご要望にすぐにお応えできる回答ができず申し訳ない。いただいた話は心に留めてなるべくアンテナを高くして、できることに少しでも来年度以降取り組みたい。引き続き助言をいただきたい。

今日ここで言えなかったことがあれば、長島の担当の所長や市の担当に直接話していただいてもいい。必ず私の耳に届くようになっている。いつでもいい。

■長島地域協議会副会長・山内 本日はありがとうございました。市長もほぼワンマンショーだったが、市長のはたらく、くらす、たべるといふもののたくさんの政策をお話しいただいた。長島からの提案に対しても適切に答えていただいた。長島からもいろいろな課題を提案していただきありがとうございました。以上で終了する。

■司会 アンケートに記入して出口で出してほしい。

[閉 会]